

新入学生に対する公共交通による通学の働きかけ



愛知県豊橋市

発表者 文野耕太郎 (豊橋市 都市計画部 都市交通課 交通対策グループ)
 連名者① 中尾悦唯 (豊橋鉄道株式会社 鉄道部企画課長兼技術課長)
 連名者② 藤井聡 (京都大学大学院 工学研究科 教授)
 連名者③ 鈴木春菜 (山口大学 大学院理工学研究科 助教)



1 取組の概要

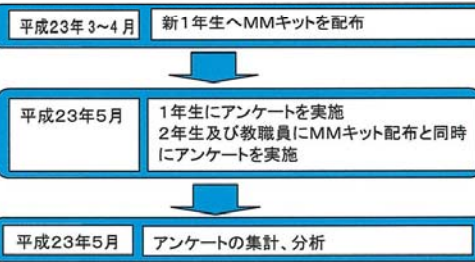
◆ 取組の目的

- ① ICカード「manaca」の普及
- ② 通学における公共交通利用者の増加
- ③ 学生・生徒の公共交通利用頻度の増加
- ④ 交通意識行動を好ましい方向への自発的变化
- ⑤ 将来的な適切な自動車利用

◆ 取組の方法

平成23年2月11日のICカード「manaca」の導入に併せて、manacaの普及とともに、入学直後の通学方法を考え始める時期にMMキットを配布しました。

◆ 取組の流れ



この取組は、地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金を活用し、豊橋市と豊橋鉄道(株)と共同で実施しました。

◆ 取組の対象とした大学・高校

- 愛知大学
公共交通 豊橋鉄道渥美線 愛知大学前 駅
- 藤の花女子高等学校
公共交通 豊橋鉄道市内線(路面電車) 東田坂上 停留場
- 豊橋南高校
公共交通 豊橋鉄道渥美線 大清水 駅

◆ 配布資料

① リーフレット 「みんなでエコライフはじめませんか？」

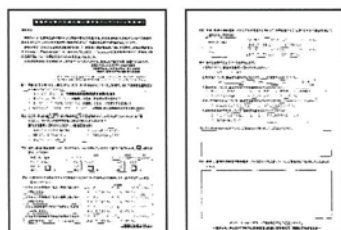
② ICカード「manaca」ご利用ガイド

③ 配布用時刻表 (豊橋鉄道渥美線・市内線) 名古屋鉄道

2 取組の効果と今後の展開

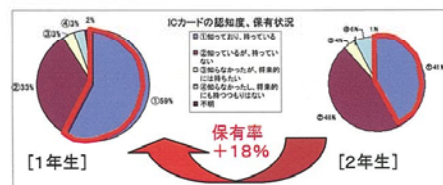
MMキットを配布した1年生と配布していない2年生に1ヶ月後に同時にアンケートを実施することにより、この取組の効果を測定しました。その結果、MMキットの配布が取組の目的の達成に効果があつたことが検証されました。以上を成果を受けて、この取組は継続的に実施しています。

アンケート用紙



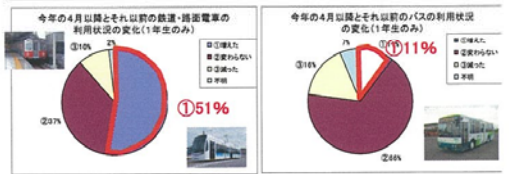
① ICカード認知度・保有状況

ICカードの保有状況は1年生の方が18%、認知度は3%高くなっています。



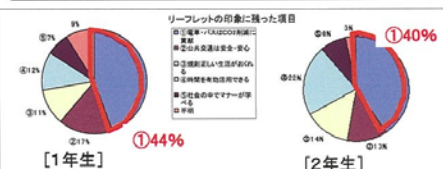
② 公共交通の利用状況の変化

この質問は1年生のみを対象としましたが、鉄道・路面電車の利用が「増えた」という割合が51%を占めています。



③ リーフレットの印象に残った項目

リーフレットの印象に残った項目は「CO2削減に貢献」の割合が4割程度となり高くなっています。



④ 車での移動に対する意向

クルマでの移動を控えたほうがよいと答えた割合がMMキットを配布した1年生の方が24%程度高くなっています。

